

# 長崎の林業

小曾根星堂書



長崎県立北松農業高等学校と長崎県立鹿町工業高等学校で産業エキスパートセミナーを開催

1

## 目次

● 林政だより	未来を担う「緑の少年団」をご存じですか？	2~3
● 特集記事	造園の仕事から樹木医へ 納富造園 代表 納富 健一郎さん	4~5
● 林業普及だより	☆令和6年度第63回全国林業経営推奨行事☆ ☆令和6年度ながさき農林業大賞☆	6
● 地方だより・県北	北松農業高等学校と鹿町工業高等学校で 産業エキスパートセミナーを開催しました	7
● 地方だより・島原	「地域貢献」で長崎県優秀工事知事表彰を松本建設(株)が受賞 吾妻中学校 総合学習(雲仙市)	8
● 林業団体情報	長崎県森林ボランティア支援センターの取組	9
● センターだより	長崎県の「マツノマダラカミキリ」の発生時期は 地点ごとに予測できる！	10
● イベント情報・県央	森林のめぐみ展示会が開催されます！	11
● 長崎の山と森	専照寺のイチヨウ 鍋島邸のヒカンザクラ	12

「長崎の林業」は、  
ながさき森林環境  
税を活用して発行  
しています。



2025  
No.822

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎の林業」はこちらからもご覧いただけます→



# 未来を担う「緑の少年団」をご存じですか？

## 緑の少年団について

緑の少年団は、次代を担う子ども達が緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育って行くことを目的とした団体で、昭和35年国土緑化推進委員会が「グリーン・スカウト」の名称で緑化を実践する少年団の結成を呼びかけ誕生しました。昭和50年代に「都道府県連盟」の組織化が始まり、平成元年「全国緑の少年団連盟」が設立されました。

令和6年1月1日現在、「全国緑の少年団連盟」には、全国3,071団321,012名が加入しています。

## 長崎県緑の少年団連盟について

長崎県の緑の少年団連盟は、昭和60年5月28日に設立され、令和6年4月1日現在19団体455名の団員が加入しています。

各地域の団数及び団員数は次のとおりです。

地域名	団数	団員数
県央	4	54
島原	3	57
県北	2	72
五島	5	64
壱岐	4	202
対馬	1	6
合計	19	455

R6.4.1 現在 長崎県緑の少年団連盟加入数

## 緑の少年団年間の活動について

緑の少年団では、学習活動、奉仕活動、野外体験活動を行っています。令和5年度は、花苗の植栽、除草作業、地区清掃、緑の募金活動に多くの団が取り組んでおり、そのほかにも、少年団ごとに田植えや稲刈り、芋ほり、ツバキ実の採取、木工、しいたけの菌打ちなど、様々な体験活動に取り組んでいます。

地域ごとに交流集會も開催されており、年間の活動内容を発表したり、他団の団員と共に木工体験や森林学習を行う機会もあります。また、新型コロナの影響で中止していた、「長崎県緑の少年団連盟 全県交流集會」を今年度から再開することとしました。

全県交流会では、森林に親しみ、大切にすることを学ぶとともに、他の地域の団員との協調や集団の中での規律を学ぶことができます。



花苗植栽活動



花苗植栽活動



活動後の様子

### 課題について

子供たちの心をはぐくむための貴重な「体験の場」となっている緑の少年団ですが、近年、休団・解団する団が増えています。理由としては、

- ・塾やクラブ活動のため子供たちの余裕がなく、新規入団者が少ないこと
- ・地域の指導者の高齢化により指導が困難となっていること
- ・学校の先生の働き方改革の影響から土日の活動が難しいこと

などが挙げられます。

また、R2年度から新型コロナの影響で活動が制限されたこともあり、活動を継続している団でも団員が減少傾向にあります。



長崎県緑の少年団全県交流集会 (R6.12)

### 対策について

長崎県では指導者対策として、技術的な支援が受けられるよう長崎県森林ボランティア支援センターで木育支援事業を実施しており、

活動場所や講師の手配などの支援を行っています。

今後も全県交流集会などの場を活かして指導者の意見を聞きながら、緑の少年団活動の活性化につながる対策を検討していきます。

ながさき木育事業

## 子どもたちの五感に触れる 森林環境教育をしませんか？

長崎県では県内の小学校4・5年生及び緑の少年団を対象に  
森林環境教育のフィールド学習を支援しています

学習内容は  
どうしたら？

校外学習は  
ハードルが  
高いな...

活動場所や  
移動手段は？

費用は？

講師は誰が  
やってくれるの？

**全ておまかせ  
ください！**

- 活動場所のご提案
- 専門講師のご紹介
- パッケージプランのご紹介
- 教育資料のご提供
- 交通の手配・補助 など

- ① 森林・林業の専門家が考案したパッケージプランを参考にして、ご希望の活動内容や日程をお伝えください
- ② ご希望に合わせて実施案及び講師をご提案
- ③ 交通手段や教育教材等に関する打合せ

パッケージ  
プランは  
裏面へ▶

まずはお気軽にお問合せください。お問合せ先はこちら▼

【相談窓口】 長崎県森林ボランティア支援センター

長崎市勘山町37番地 長崎勘山37ビル本館2階F室 Tel:095-895-8655  
Fax:095-895-8656 E-mail:info@nagasaki-shinrin.com

QRコードはコチラ

### 【相談窓口】

長崎県森林ボランティア支援センター

TEL : 095-895-8655

FAX : 095-895-8656

<https://nagasaki-shinrin.com/>

### 終わりに

本県の緑の少年団活動をより活性化させるためには、関係する市町や地域で活動されている林業関係者、森林ボランティアの技術や人的支援が必要です。未来を担う緑の少年団の活動にご協力をお願いします。

(林政課 森林活用班)

## 【特集記事】造園の仕事から樹木医へ



今回ご紹介するのは樹木医、納富健一郎さんです。納富造園は昭和35年に納富さんのお父様が立ち上げられた会社で、現在は納富さんが代表を務められています。

### 造園の仕事から樹木医へ

平成17年頃、納富さんは造園の仕事をする傍ら、樹木医の松田正美さんが木の治療に行くときにカバン持ちとして様々な現場に足を運んでいました。その頃はまだ樹木医になろうという気持ちはありませんでしたが、「木は消耗品だ」と考える一部の造園業の方の話などを聞く中で、その考えに違和感を覚えていました。そんな中、納富さんのお子さんが通っていた保育園を経営するお寺の住職より寺の樹木の治療を依頼されました。樹木医に随行して木の治療はしていましたが、樹木医の資格は持っていないので一度は断ったそうですが、やれるだけ手を尽くしてほしい

といわれ、できる範囲で試行錯誤を行う中で樹木医の道に進もうという気持ちが芽生え、樹木医の資格を取り、樹木医としての活動を開始しました。

### 日本樹木医会員の活動

樹木医の資格を取ってから、日本樹木医学会長崎県支部へ所属し、会員としての活動がスタートしました。1つ目は原爆の爆風や熱線を耐え抜き、現在まで生きながらえた被爆樹木の点検です。被爆樹木の中には樹齢数百年になるものもあり、樹木医による専門的な診断や治療を行っています。

「樹木の専門家として、長崎で平和のための関わりができたのは樹木医があればこそです」と納富さんは語ります。

次に、諫早市の総合運動公園にあるメタセコイアの診断です。国道沿いに立つ樹高25mのメタセコイア約200本の調査を行い、木



諫早市のメタセコイアの調査の様子

を小さく切り詰めるのか、間伐するのか等の調査を行っています。

そして、5年前から長崎県の巨樹・古木・銘木の調査をしようという事で、樹木医会のネットワークで離島を含め、県内全域を巡って調査を行っています。今年度長崎県森林環境税を活用して製本し、県内の教育関係機関などに寄贈する予定です。

## 樹木医としての造園の仕事

樹木医の資格を取得したことで、仕事にも変化があったと納富さんは語ります。

「施主としてやりたいことがある中で、『樹木医の納富さんの提案を信頼して任せます』と言ってもらえることが多くなりました。これは一例ですが、庭木の維持管理をする中で強風の影響や周囲への迷惑等の理由で、木を小さくしたいという要望があります。しかし、『小さくするというのは最適な時期で最適な方法で行わないと木に悪影響があります』という話をすると、『ではその時期にお願いします』とこちらの提案を受け、待つことが多くなりました。

また、私は令和2年より島原市文化財保存活用地域計画作成委員会に樹木医として参画させて頂いています。木の治療だけでなく、

行政と共に樹木を保護する計画に樹木医として携われるというのは非常に有意義で活動の広がりを感じます。」

## 今後の展望

納富さんは、樹木医や造園業の活動も今後は新たな技術や価値を取り入れ、若い世代に関わってもらいたいと考えています。

「近年は樹木医としての活動に関する技術が進歩しているので、良いところを取り入れながら活動も進化させていきたいと思っています。樹木調査についてはドローンを活用すると、下からでは確認できないところも調査することができ、新たな枯損箇所等を発見できるので、今後取り入れていきたいと考えています。また、次世代の育成として、現在造園組合で造園技能士資格の講習のお手伝いをしています。造園技能士は厚生労働省の国家資格で、3級造園技能士は若い方、高校生でも受験者がいますので、その支援ができればと考えています。

私事ですが、9月に『大樹』と名付けられた初孫が誕生しました。孫の世代へ良い環境を残すことができるよう、樹木医・造園業者として『人』も『樹』も、後継の育成の支援をしていきたいと考えています」と今後の展望を語っていただきました。

### 納富造園

長崎県諫早市栄田町 59 - 42

TEL/FAX 0957-26-5970

HP <https://www.notomi-zoen.com/>

(NPO法人地域循環研究所)

林業普及だより

## ☆令和6年度第63回全国林業経営推奨行事☆

### 「全国林業経営推奨行事」とは

公益社団法人大日本山林会主催の行事で、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰するものです。

### ☆農林水産大臣賞受賞☆

対馬森林組合 [対馬市]  
(代表理事組合長 中島 均)

対馬森林組合は、小規模森林所有者の面的集約化による森林施業プラン書を活用した提案型集約化施業を進めるとともに、作業の機械化及び効率的な作業道開設を組み合わせ、生産コストを低減し、森林所有者への利益還元につなげています。

また、木材流通体制の構築を進める「長崎県地域材供給増協議会対馬支部」等の地域



組織の代表も務め、地域林業を牽引されており、木材販売も、取引先への安定出荷や地域材の高付加価値化に取り組み、離島という地理的ハンデを克服しています。

このように、適正な森林経営管理や創意工夫による取組で林業の振興に尽力されていること等が高く評価されました。

## ☆令和6年度ながさき農林業大賞☆

### 「ながさき農林業大賞」とは

地域の特色を活かした先進的な活動を展開して成果を上げている農林業者や組織を表彰するもので、今回で19回目の開催になります。

### ☆長崎県知事賞受賞☆

林産部門 (トップファーマー)  
株式会社 長崎林業 [諫早市]  
(代表取締役 城臺 好之介)

(株)長崎林業は、県内の民間林業事業体では最も木材生産量が多く、高性能林業機械の保有台数や、従業員の数もトップクラスであり、生産性向上の取組等により、木材生産量は、5年前より1.5倍に増加させるなど、飛躍的に発展し、地域の森林整備の促進に尽力されています。

全国的にも先駆けて木材搬出に向けた作業道の技術者育成に力を入れ、県内で唯一の路網作設オペレーターの上級指導者が在籍し、県内外の森林作業道研修で技術者育成にも貢



献されています。さらに、県施策等の方向性の検討や取組推進のために組織している各種委員会等においても、県の林業推進活動に協力し、魅力ある林業経営が他の模範となっていること等が高く評価されました。

★受賞された皆さま、おめでとうございます。  
今後、益々のご活躍を祈念いたします。

(林政課 普及指導班)

地方だより

## 北松農業高等学校と鹿町工業高等学校で産業エキスパートセミナーを開催しました



フォワーダ操縦体験



プロセッサ操縦体験

長崎県では、ながさき農林業・農山村活性化計画を策定し、林業専門作業員を令和12年までに420人確保することを目指しています。

県北管内で新規林業専門作業員の確保に向けて、令和6年11月6日、12日に長崎県立北松農業高等学校生物生産科1年生（31名）と長崎県立鹿町工業高等学校機械科2年生（25名）に対し、長崎県林業協会の協力のもと、産業エキスパートセミナーを開催しました。このセミナーでは林業について知ってもらうことや、就職先の選択肢として認識してもらうことを目的として、毎年開催しています。

はじめに県北振興局が、森林の有する多面的機能についてや、森林整備の必要性、森林循環利用と高性能林業機械について説明を行いました。

その後、株式会社 鶴田林業の方に現場講師を務めていただき、搬出間伐の作業の実演を見学しました。そして、高性能林業機械（フォワーダ、プロセッサ、ザウルスロボ）の操縦体験を行いました。生徒たちは、これまで見たことの無い林業機械に興味津々で、体験にも熱心に取り組む姿が見られました。



伐倒作業の実演



説明の様子

この産業エキスパートセミナーを通して、「林業って魅力ある仕事じゃん！」と生徒たちに興味を持ってもらえることを期待しています。今後も、林業という仕事について知ってもらう機会として継続し、林業を就職先として選んでもらえるよう取り組んでいきます。

（県北振興局 林業課）

地方だより

## 「地域貢献」で長崎県優秀工事知事表彰を松本建設(株)が受賞

令和6年8月22日(木)、島原振興局林務課より発注した「刈水地区予防治山工事[R5債務]」において、「地域貢献」の推薦基準により令和6年度長崎県優秀工事知事表彰を松本建設(株)(代表取締役・松本英睦)が受賞しました。

この工事は、山腹斜面の落石対策を目的とした固定工の工事実施において、隣接する市道の通行止めの回避、騒音対策への配慮など公共工事へのイメージアップに寄与し、地域貢献を果たした工事であることが評価されました。

優秀工事知事表彰は、県発注工事1303工事から20工事が選定されましたが、県下での森林土木発注工事のうち、唯一の受賞となりました。

最近では、能登半島地震や集中豪雨など、自然災害が頻発化・激甚化しておりますが、県民の生命・財産・暮らしを守り支えるため、建設業界の皆様には、引き続きお力添えをお願い申し上げます。



(左から監理技術者・荒木幸夫氏、代表取締役・松本英睦氏、林務課・宇土、吉谷)

## あづま 吾妻中学校 総合学習(雲仙市)

### 未来の担い手プロジェクト

令和6年10月16日(水)に雲仙市が農林水産業の次世代の担い手の確保のために行っている「未来の担い手プロジェクト：林業」の一環として、雲仙市立吾妻中学校の3年生を対象に、森林や林業についての体験授業を行いました。授業を通して雲仙市(吾妻町)の林業について、現状を学び、より発展させるために自分たちには何ができるのだろうかと考察を進めていきました。



伐倒現場の見学

### 雲仙市有林 現場見学

雲仙市有林で、チェーンソー伐倒を行っている現場を見学しました。作業を行っている雲仙森林組合の方にお話を聞きながら、実際にチェーンソーを持ったり、グラブプル操作を体験したりしました。

### ドローン体験

主伐を実施した現場に移動し、雲仙森林組合職員がドローン操作の実演を行い、林業での活用方法について説明しました。その後生徒たちにも操作体験を行ってもらいました。初めてのドローン操作に緊張している様子でしたが、すぐに慣れて楽しそうにドローンを飛ばしていました。

### 体験を通して得た学び

林業の必要性、大変さ、楽しさを学び、興味を持ってくれたようでした。この中から未来の担い手が現れることを願っています。

(島原振興局 林務課)

# 長崎県森林ボランティア支援センターの取組

長崎県森林ボランティア支援センター（以下「センター」）は、平成21年に県民参加の森林づくりをさらに進めるため、森林ボランティア団体等の連携強化を図るとともに、新たに森林ボランティア活動に取り組もうとする団体や、企業等の相談窓口まで、一体的に行う目的で設置されました。設立当初は、森林ボランティア団体18団体が登録を行い、活動を行っていましたが、現在では54団体となり、県内各地で活発に森林保全の取組が実施されています。

今回は、センターの主な業務として、木育支援業務（フォレストマスター派遣とフィールド学習支援）について紹介させていただきます。

- ◆ながさき県民参加の森林づくり相談窓口
- ◆企業の森づくりや森林ボランティア窓口
- ◆森林ボランティア団体の登録・変更業務
- ◆HPでの情報発信や会報の発行
- ◆森林ボランティア団体の意見交換会開催
- ◆貸出用品の購入・管理
- ◆森林ボランティア登録団体の保険加入事務
- ◆県民参加活動のPRイベント等の開催
- ◆森林ボランティア技術研修会の開催
- ◆森林づくり活動の開催・サポート
- ◆木育支援業務（フォレストマスター派遣・フィールド学習支援）

センターの主な業務内容

## フォレストマスター派遣

長崎県が森林整備や木育などの経験者をフォレストマスター登録研修により、フォレストマスターとして登録し、森林に関する体験活動を行ってほしい団体などに講師として派遣しています。

この事業は、令和2年度から開始され、現在58名がフォレストマスターとして登録されています。今年度は12月時点で、保育園、学童、若者サポートステーション等へ14件の派遣を行っております。フォレストマスターの指導分野は、自然遊び、木工、林業作

業体験、自然観察など様々で、センターのHPより講師一覧や派遣の流れなどを閲覧できます。

## フィールド学習支援

令和4年から、森林保全に関する子どもたちの意識向上を図り、将来の森林づくりの応援団を育成することを目指し、校外での体験活動への講師派遣によるフィールド学習支援を行っています。対象は、県内の小学校4・5年生及び緑の少年団で、森林環境教育の支援として、専門の知識を有した講師を派遣します。活動内容は、要望に合わせて作成する事が可能で、「木育パッケージプラン」というプログラム内容や、所要時間、場所などをまとめた活動例から選んでいただくことも可能です。講師、活動場所、バス等の交通手段の手配や、活動費については県が費用を負担するため、校外学習はハードルが高いとあきらめていた学校現場や緑の少年団から好評いただいています。今年度は12月時点で14件の支援を行っています。



木育フィールド学習の様子

森林ボランティア活動や木育支援業務に関するお問い合わせは TEL095-895-8655 までお気軽にご連絡ください。

HP : <https://nagasaki-shinrin.com/>

（長崎県森林ボランティア支援センター）

センターだより

# 長崎県の「マツノマダラカミキリ」の発生時期は 地点ごとに予測できる！

## はじめに

松くい虫被害は、マツを枯らすマツノザイセンチュウと、それを媒介し被害を拡大させるマツノマダラカミキリ（以下カミキリ）によって引き起こされます。被害対策の一つとして、薬剤の予防散布がありますが、カミキリが発生する時期を見極めて、数多く発生するピーク時の前に適切に薬剤を散布しなければ、高い効果が望めません。これまで農林技術開発センターでは、カミキリが発生する最初の日（以下初発日）を予測し、各市町村へお知らせしていました。一方、これは諫早市貝津町における初発日であり、県内全域をカバーできるものではありませんでした。そこで、防除をおこなうマツ林ごとに初発日を予測するために、農研機構メッシュ農業気象データを用いて発生予測図を作成しました（図1,2）。

## 発生予測図の見方

今回作成した予測図は、これまでの過去30年間のカミキリの発生データをもとに作られています。この図の中で、緑色に近いほど初発日が早く、赤色に近いほど初発日が遅いことを示しています。図を見ると、平地より標高が高く気温の低い山地の方が、初発日が遅くなっていることがわかります。

## おわりに

マツノマダラカミキリの初発日は、発生予測図による予測値と実測値との間に、正の相関関係があり（図3）、その予測の精度は、各地点の予測日に対し約-4日~+7日であり、農薬散布の実施時期が判断しやすくなりました。当センターは、今後も森林保護に役立つ情報を発信していきます。

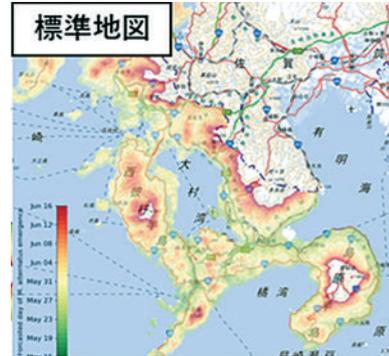


図1 発生予測マップの例「標準地図」  
(2014年データ)

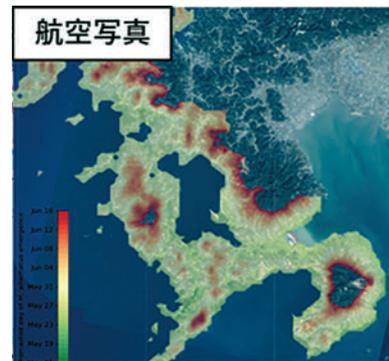


図2 発生予測マップの例「航空写真」  
(2014年データ)

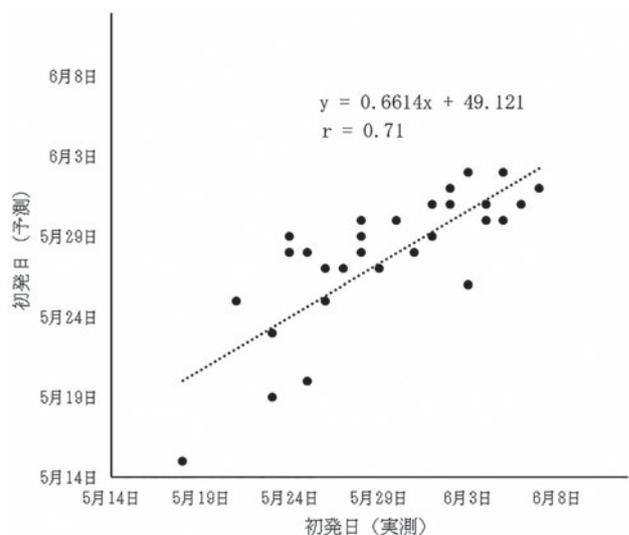


図3 マツノマダラカミキリ初発日（実測）と初発日（予測）の関係

(農林技術開発センター)

イベント情報

# 森林のめぐみ展示会が開催されます！



令和6年開催森のめぐみ展示会の様子

令和7年3月8日（土）に長崎市浜町ベルナード観光通りにおいて「森林のめぐみ展示会」が開催されます。

「森林のめぐみ展示会」は森林から生産される椎茸やハランといった特用林産物を展示、販売することで、森林について一般に広く知らせ、地域外のグループや都市部の人達との交流、森林・林業活動の周知を目的に開催されています。

展示会では、県内の林研グループや諫早農業高校、県緑化推進協会、ながさき県民の森が参加し、木工品や樺苗木、椎茸など多くの林産物を展示・販売しています。

昨年度も多くの方が訪れ、ほとんどの商品が完売しました。今年も盛況となることを期待しています。

皆様もぜひ足を運んでみてください。



木工品の販売（令和6年3月）

～お問い合わせ～

長崎林業研究グループ連絡協議会  
〒854-0063 諫早市貝津町  
TEL：0957-25-0177

（県央振興局）

## 伊万里木材市況

### 【ヒノキ】

令和6年12月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16～18	直	24,700	普通	多い	多い
	16～18	小曲り	23,900	普通	多い	多い
	20～22	直	24,800	普通	多い	多い
	20～22	小曲り	23,900	普通	多い	多い
	24～28	直・小曲り	22,000 ～20,500	普通	多い	多い

### 【スギ】

令和6年12月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18～22	直	15,500	少ない	多い	多い
	16～22	小曲り	13,500	少ない	多い	多い
	24～28	直	15,500	少ない	多い	多い
	24～28	小曲り	13,500	少ない	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山と森 樹木医の巨樹さるく

せんしょうじ 専照寺のイチヨウ 鍋島邸のヒカンザクラ

専照寺のイチヨウ

専照寺は浄土真宗本願寺派の寺院で、1615年の開創です。イチヨウは、防火樹として多くの寺院境内に植栽されており、植栽が開創当時とすれば、樹齢は400年程度になります。

山門の両側に1本ずつ植栽されており、地域の発展と共に育ってきました。その姿は遠くからもはっきり見ることができることから、地域のランドマークとなっており、地域住民の方々にとって存在感のある大切なものとなっています。

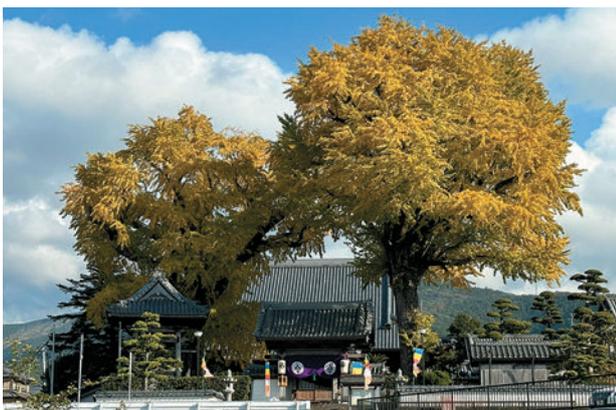
海に近く、風が当たりやすいことから、台風によって直径20cm位の枝でも折れたところがあります。永い年月の中で被害を受け続けてきたことで、独特の樹冠が形成されたことが窺えます。樹冠が三角形をした自然樹形のイチヨウとは異なり、強風に立ち向かって戦ってきた姿は、独特の存在感があります。

樹勢は、まだまだ旺盛であり、大きさや見通しの良い場所にあることから地域における存在価値が大きいものであることがわかります。

所在地：雲仙市千々石町戊 693

樹高 20 m 幹回り 5.5m (雌木)

樹高 20 m 幹回り 4.75m (雌木)



専照寺のイチヨウ

鍋島邸のヒカンザクラ

1587年、神代こうじろ氏の領地は、豊臣秀吉の九州国割により龍造寺領に編入されました。その後、鍋島豊前守信房たかなりの所領となり、四代目の嵩就の代になってから、当主が居住するようになったと伝えられています。神代は、嵩就により計画的な武家町が形成されました。鍋島家と陪臣の屋敷地から構成される神代小路には、1865年に完成した長屋門。その北に鍋島邸主屋（国指定重要文化財）があり、鍋島邸を核とするこの一帯は、「神代小路伝統的建造物群保存地区」に指定され、歴史を刻む文化遺産として大切に保存され、活用されています。

ヒカンザクラは、最初に鍋島邸に大正末期に植栽され、現在ではこの地域に約60本が育っています。2月中旬～3月上旬頃に開花し、カンパニュラのように下向きで咲かせることから、campanulataの学名があります。花の色が艶やかな濃いピンク色であることから「艶やかな美人」という花言葉があります。サクラの中でも春早く咲く花で、ウメと間違われることもしばしばあるようです。

春の足音が聞こえたら、歴史ある屋敷に舞う「艶やかな美人」を是非ご覧あれ！

所在地：雲仙市国見町神代丙 103番地1

樹高 4m 幹回り 0.75m



鍋島邸のヒカンザクラ

(NPO法人地域循環研究所)

長崎の林業 1月号 第822号  
 編集・発行 長崎県林政課  
 住所：長崎県長崎市尾上町3番1号  
 電話：095-895-2988  
 ファクシミリ：095-895-2596  
 メールアドレス：  
 s07090@pref.nagasaki.lg.jp